

第49回小櫃地区文化祭開催

10/28(土)・29(日)



第230号

編集・発行

〒292-0451 ☎35-2488

君津市末吉128

小櫃公民館

小櫃の人口

男 2,269人(-19)

女 2,264人(-15)

計 4,553人(-34)

世帯数 2,019戸(-7)

(令和5年10月末(7月末比較))



特別展示の様子



スマイルエンジェルのダンス発表



小櫃小学校の合唱発表



上総小櫃中学校の校歌の発表



カルタ大会の様子(小櫃地区予選)

10月28・29日、第49回小櫃地区文化祭が開催されました。今年度は敷地内で飲食が可能となり、コロナ禍前と同じ形での開催となりました。テーマは「出会いふれあい学びあい豊かな『美・土・里』を未来へ」。小櫃公民館は多くの人で賑わい、出会いやふれあいがたくさんある2日間になりました。

新たな挑戦で さらなる 盛り上がりへ

今年の文化祭では、様々な分野で新しいことに挑戦する参加者の姿が見られました。

芸能発表では、上総小櫃中学校生徒のボランテアによる校歌の紹介が行われました。中学校の統合後、地域のみなさんに初めて校歌が披露されました。その他にもピアノを演奏した重城さんなど、新しく出演する方が増えたのも嬉しい限りです。

また、書道パフォーマンスや工夫をこらした体験コーナーなどこの後の記事で紹介しましょう！

積極的アピールを！

今回文化祭の展示部門では、「見学者のみならずには作品の解説をするなど、積極的な働きかけを心がけよう」を共通のテーマに掲げました。

第一会議室を会場に展示を行った粋遊会、わくわく倶楽部の2サークルでは、本テーマの延長線上の試みとして、作品作りが体験できる「プチ体験会」を企画。同会場で、缶バッチ作りやクリスマスリース作りを実施しました。いいな、素敵だな、と感じる作品は、自分でも作ってみたくなるものですね。見学者のみならず、見るだけでなく、実際に作品作りを体験していただいたことで、文化祭



粋遊会・わくわく倶楽部の展示とプチ体験

全体テーマの「出会いふれあい学びあいまちがえ」も、生まれてきました。

特別企画「日伯交流50周年記念と連携して」

虹の会 安藤智子

今年9月に「大志万学園創立30周年」、10月は文化祭特別展、11月は「日伯交流50周年」と祝賀の年でした。私たちは大志万学園の式典に出席して学校や式典の様子を撮影し、公民館職員の動画編集により、今のブラジルをお伝えすることができました。文化祭1日目は、初めてコーヒーとジュースを提供したところ好評で、200人以上の方が来ていただきました。

また、展示ではブラジルの生活や簡単なポルトガル語の紹介をしました。50年間の交流年表は、多くの人が関心を寄せていました。親が子どもに説明をしている場面もあり、交流が繋がりが、深まっている歴史を実感しました。多くの方々の協力で作り上げた

体ほぐれる ピラティス体験

おびつピラティスサークルによる、椅子に座ってできるピラティス体験が2日目の午前中に2回行われました。初回は、雨が上がるのを待ってからの開催となりましたが2回とも多くの参加者で賑わいました。参加した皆さんは、外の空気を吸いながら気持ちよさそうに体をほぐしていました。



空の下でピラティス体験

特別企画、私たちも皆様と一緒に楽しむことができました。

次回使節団が来た時「Bos Brio. ボアジール」(こんにちは)と声掛けしてみませんか？きっと彼らは目を丸くして喜んでくれることでしょう！

ブラジルや式典の様子をまとめた映像は公民館ロビーで見ることが出来ます。ぜひ見に来て下さい！



ブラジルコーヒーを味わいながらくつろぐ様子

迫力満点！ 書道パフォーマンス

文化祭2日目には、昇書道塾による初めての書道パフォーマンスが行われました。「小櫃」をテーマに子どもたち一人ひとりが考えた言葉を、音楽に合わせて巨大な紙に書いていきました。お揃いのTシャツを着てパフォーマンスをする子どもたちの真剣な姿は迫力と一体感があり、会場にいた人々の目を惹きつけました。

出来上がった作品は講堂前のガラス面に展示しています。公民館に来た時にはぜひ見てくださーい！

子どもたちによる書道パフォーマンス



子どもたちの はじける笑顔

今年も子どもたちの元気な声が、文化祭をより賑やかにしてくれました。むかし遊びの体験コーナーでは、竹とんぼやこま回しの方をシニアクラブの方に教わり楽しむ姿が見られました。消防車や白バイに試乗をした子どもたちも笑顔がはじけていました。



こまの回し方を教わっている様子



けん玉や竹とんぼにも挑戦！！



消防車の中もワクワクがいっぱい！

子どもたちに大人気の白バイ！

小櫃の動き

白山神社秋季例大祭 (9月24日)



さわやかに晴れ渡った青空のもと、白山神社の秋季例大祭で、神樂が奉納されました。コロナ禍を乗り越え、5年ぶりの奉納でした。

大勢の見物客が詰めかけるなか、境内に設けられた舞台上で、装束をまとった舞者(太夫)が、時には勇壮に、時にはコミカルに神樂舞を披露しました。神樂舞が終わると、舞台からはお餅やお菓子が盛大にまかれ、子どもたちからも大きな歓声が上がりました。

この日、神樂を奉納したのは「俵田白山神社神樂保存会」「西原睦会」「三田青年会」の3団体(奉納順)。



第47回 小櫃地区ふるさと祭り が開催されました

10/15

祭り当日、午前中は激しい雨が降っていましたが、夕方になるにつれて天気は回復し、会場の小櫃公民館は多くの人で賑わいを見せました。芸能発表に加え、大輪の花火の打ち上げと大成功に終わったお祭りですが、背景には会議の積み重ね、大雨の中の準備など実行委員の苦労がありました。そのような中、小櫃地区ふるさと祭り事務局(長谷川)にお話を伺いました。

コロナ禍により2年続けて開催を中止しましたが、昨年は感染防止対策を実施した中で、規模を縮小し花火を中心に

祭り当日、午前中は激しい雨が降っていましたが、夕方になるにつれて天気は回復し、会場の小櫃公民館は多くの人で賑わいを見せました。芸能発表に加え、大輪の花火の打ち上げと大成功に終わったお祭りですが、背景には会議の積み重ね、大雨の中の準備など実行委員の苦労がありました。そのような中、小櫃地区ふるさと祭り事務局(長谷川)にお話を伺いました。

コロナ禍により2年続けて開催を中止しましたが、昨年は感染防止対策を実施した中で、規模を縮小し花火を中心に



当日の花火の様子は こちらからご覧ください!

とすることで3年ぶりの開催となりました。そして、今年の第47回小櫃地区ふるさと祭りは「スポーツ広場で再スタート」をテーマに、従来の開催場所であるスポーツ広場で開催に向けて準備を進めてまいりました。しかしながら、私たちの力の及ばない大雨によりグラウンド不良のため、昨年と同様に公民館での開催となりました。開催場所の急きょ変更により皆様大変ご迷惑をお掛けしました。私たち実行委員も準備に追われ何とか開催時までに準備を整えることができました。

ふるさと祭りは、地域の皆

敬老会が開催されました



10月8日に小櫃地区敬老会が開催されました。90歳の卒寿を迎えられた方は小櫃地区で38名。石井市長を来賓にお迎えした式典では、出席した10名の方に記念品の授与が行われました。

式は君津青葉高校生徒のボランティアの進行により進められ、地域で元気に活躍している高齢者の歌や踊りの披露もあり、5年ぶりの賑やかなひと時となりました。

(小櫃地区社会福祉協議会 会長 長谷川 勝之)

おびつびど



新部 ウタ子さん (戸崎)

「おびつびど」では小櫃地区に在住で、特技や好きなことに取り組んでキラキラと輝いている人にインタビューをしています。第8回目は、戸崎地区にお住まいの新部ウタ子さんです。長年、踊りを趣味として活躍している新部さんからお話を伺いました。

踊りを始めたきっかけ
今から30年くらい前のことです。元々、趣味を持っていないから私に対して、兄が「何でもいから趣味を持った方がよい」と言いました。そこで以前から興味があった踊りを本格的にやってみようと思ったのがそもそものきっかけです。現在は週に1回お稽古に通っています。

踊りの難しいところ・踊るとき
踊りは1曲分の踊りを覚えるのに半年近くかかりますが、だんだんと体が曲に馴染んできます。曲に合わせて衣装を変えたり、小物を変えたり工夫をします。歌詞の意味を伝えるために、どうやって体で表現するかを考えるのがとても難しいです。踊っているときは無心になりつつも、緊張感を持って踊ります。文化ホールの広い舞台上で踊るときは、とても緊張するけれどそれ以上に気持ちがいいものです。友人が見に来てくれたり、皆さんに喜んでくれたりするのが嬉しいです。



皆さんに伝えたいこと
兄に言われた「趣味を持つこと」はとても大切です。私は、「踊り」という「目的」を持つことで生き活きと人生を進むことができている。そして、趣味を持ったことで仲間と交流する機会も増えました。趣味だけでなく周りの人と関わりあっていくことが元気の秘訣です。繋がりが増えて、たくさんの素敵な人と出会うことができましたのは本当に良かったと思います。

これからの目標
30年も踊り続けられている理由は、好きだから、夢中になっているから、もうやめられないです。足腰の動く限りは続けていきたいです。

君津市主催の説明会等開催状況をお知らせします!

◆**コミュニティ・スクール説明会** 9月19日(火)「君津市学校再編第2次実施プログラム」に基づく上総小櫃中学校区へのコミュニティ・スクール(学校運営協議会)導入に向けての説明会が開催されました。

◆**きみつシン地域づくり懇談会** 10月3日(火)君津市がこれからの新たなまちづくりの仕組みとして創設を目指す「地域づくり協議会制度」の住民主体による協議会づくりに向けての懇談会では、制度の説明の後、小櫃地域での協議会をイメージしながら意見交換が行われました。

◆**君津市公民館等再整備基本計画・第2回ワークショップ** 11月20日(月)「君津市総合計画」「君津市都市計画マスタープラン」「君津市社会教育施設の再整備基本計画」など様々な計画に基づき小櫃公民館の再整備が進んでいます。ワークショップは6月に続

総合防災訓練を実施しました!



消火訓練の様子

10月22日に上総小櫃中学校で、君津市主催の総合防災訓練が行われました。小櫃地区の住民およそ160人に加え、消防や電気・水道・土木関連など多数の防災関係機関が集い訓練が行われました。

参加者は、応急救護や消火活動、土のうの作成など、災害時の様々な事態を想定した訓練を体験しました。

住民向けの訓練だけではなく、日本赤十字奉仕団の炊き出し訓練や、消防隊の救助訓練など、様々な関係機関が同会場内で訓練を行いました。災害時には行政と関係機関、そして地域住民の協力の重要性を感じさせられる一日でした。

編集後記
年の瀬の慌ただしさの合間に、この一年を振り返ってみると、コロナ禍前の日常に戻りつつあるのを感じます。人と普通に会い、語り、食へ、笑い合う。来週の来月の来年の予定がある。この紙面でも、復活した地域の行事や活動を伝える喜びが溢れています。インフルエンザの流行に加え、下火になったとはいえまだまだ油断のならないコロナにも十分注意しながら、希望にあふれた新年を迎えたいと思います。皆さまも良い年をお迎えください。(ひろ)